



エバーゴル® フォルテ 箱粒剤

箱処理で、 稲を守る 力強い守護者



大型包装
10kg 入



●紋枯病防除剤エバーゴル® (有効成分) 配合!

- 稲の主要病害虫に優れた効果と残効性を発揮
- いもち病防除の定番ルーチン® (有効成分) 配合
- は種時から田植え当日まで使用可能



いもち病



紋枯病



白葉枯病



イネドロオイムシ



イネミスジウムシ



ウンカ類(セジロウンカ)



ツマグロヨコバイ

自然に学び 自然を守る



フミカ

新しい紋枯病防除剤エバーゴル®(有効成分ペンフルフェン)配合!

殺虫剤分類 4A

殺菌剤分類 P3.7

農林水産省登録 第23458号

●成分: イソチアニル..... 2.0%
ペンフルフェン..... 2.0%
イミダクロプリド..... 2.0%

●毒性: 普通物 (「毒物および劇物取締法」にもとづく毒物・劇物に該当しないものを指している通称)

エバーゴル®フォルテ 箱粒剤

適用病害虫および使用方法

(2021年10月現在)

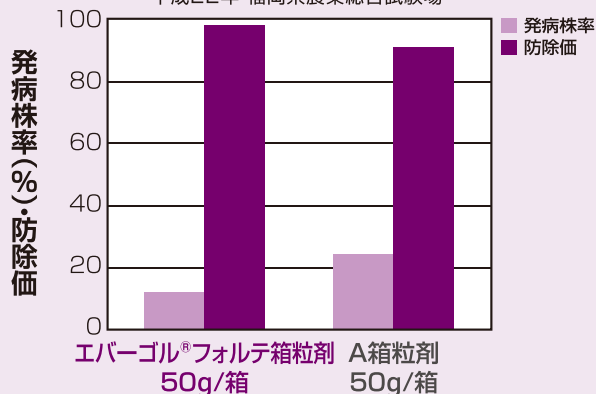
作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用回数*	使用方法
稲 (箱育苗)	イネミズヅウムシ イネドロオウムシ、ウンカ類 ツマグロヨコバイ、いもち病 紋枯病	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種前	本剤:1回 イミダクロプリド:3回以内 (移植時までの処理は1回以内、 本田での散布は2回以内)	育苗箱の床土又は 覆土に均一に 混和する。
	白葉枯病		は種時(覆土前)～ 移植当日		
	疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) 内穎褐変病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) もみ枯細菌病	高密度に、 は種する場合は 1kg/10a 育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50～100g	移植当日	イソチアニル:3回以内 (移植時までの処理は1回以内、 本田では2回以内)	育苗箱の 上から均一に 散布する。
	白葉枯病 イネミズヅウムシ イネドロオウムシ、ウンカ類 ツマグロヨコバイ、いもち病 紋枯病		移植3日前～ 移植当日		

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

紋枯病に対する防除効果

は種時覆土前

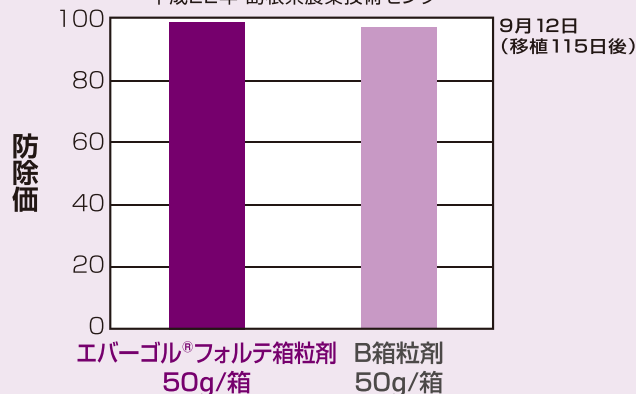
平成22年 福岡県農業総合試験場



品種: ヒノヒカリ 発生状況: 多発生(接種) 移植: 6月24日
処理: は種時覆土前(6月4日) / 対照剤は移植当日(6月24日)
調査: 9月24日(移植92日後) 接種: 7月21日 出穂期: 8月30日

移植当日

平成22年 島根県農業技術センター



品種: きぬむすめ 発生状況: 中発生(接種) 移植: 5月20日 処理: 5月20日 調査: 9月12日
接種: 7月30日

注意事項

- 本剤を床土または覆土に混和処理する場合、処理後速やかに使用して下さい。また本剤を処理した床土または覆土を放置しないで下さい。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾粉として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整して下さい。
- 極端な低温での育苗条件では生育抑制を生じるおそれがあるので、温度管理に注意して下さい。
- 梅雨明け後の高温時の晩期栽培では、は種前及びは種時の処理により薬害が生じるおそれがあるので、これらの時期での使用を避けて下さい。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意して下さい。
- 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かきは丁寧にいき、移植後田面が露出しないように注意して下さい。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないで下さい。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないで下さい。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布して下さい。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさせて下さい。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 誤食などのないよう注意して下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないで下さい。
- 移植後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意して下さい。
- 密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼・乾燥した場所に保管して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。●防除日誌を記帳しましょう。

2175(22-10)

